

しちょうわん 市町連だより



第25号

平成21年7月31日

発行責任者
千歳市町内会連合会
会長 北村 功
千歳市東雲町1丁目11番地
千歳市社会福祉協議会内
TEL.0123-27-2525

印刷
(株)フロンティアエージェンシー

平成21年度市町連定期総会

79町内会の出席で総会が開催される

平成21年度の市町連定期総会が、去る5月23日(土)、ホテル日航千歳において、79町内会会長の出席を得て開催されました。

開会に先立ち、物故者への黙祷が行われ、北村会長からの挨拶のあと、議長に富丘1丁目町内会長の田中忠治氏を選出し、議案の審議に入りました。

報告事項では、平成20年度事業経過報告、一般会計・特別会計決算報告、監査報告、特別委員会からの中間報告があり、また協議事項では「規約」並びに「役員選考委員会規程」の一部改正、平成21年度事業計画案、一般会計・特別会計予算案が原案どおり承認されました。

規約並びに役員選考委員会規程の一部改正を承認

本年は本会の発展と組織機能の活性化を図り、市町連と単一町内会を連結させる組織を機能させることが重要との認識に立ち、「規約」並びに「役員選考委員会規程」の一部改正をいたしました。

主な改正点は次のとおり。

(1)「ブロック代表理事会」の設置

従来までの「常任理事会」は「ブロック代表理事会」に名称を改め、役員の選考及び会長の諮問に対し審議し答申する役割としました。

(2)「正副会長・専門部会長会議」の設置

正副会長及び専門部会長による会議を設置し、会務の執行及び事業運営、専門部会活動に関する事項を検討する役割としました。

(3)会長及び副会長、監査の選出方法の見直し
会長及び副会長、監査は、ブロック代表理事会で選出し、総会において承認するなど、選出方法の見直しを図りました。

総会終了後、千歳市長はじめ26名の来賓を迎えて、千歳市長感謝状並びに市町連会長表彰が行われました。



市町連定期総会



平成21年度千歳市長感謝状表彰式祝賀会



会長
北村 功

安心して暮らせる「あたたかみのあるまち」を推進していくには地域住民の地域活動が重要になってきます。市町連としては、本年度規約の一部を改正して専門部が展開している活動の充実発展を目ざしています。子供から高齢者まで互いに支えあい安心して暮らせる地域づくりを進める組織として努力する所存でございます。よろしくご協力の程、お願い致します。

住みよいまちづくりをめざして

(1)報告事項は5件

報告第1号 「平成20年度事業経過報告」

報告第2号 「平成20年度一般会計収支決算報告」

報告第3号 「平成20年度特別会計収支決算報告」

報告第4号 「平成20年度監査報告」

報告第5号 「特別委員会からの中間報告」

まで一括提案があり、承認されました。

(2)審議事項は5件

議案第1号 千歳市町内会連合会規約一部改正について

議案第2号 役員選考委員会規程の一部改正について

議案第3号 平成21年度事業計画について

議案第4号 平成21年度一般会計収支予算について

議案第5号 平成21年度特別会計収支予算について

千歳市長感謝状受賞者(敬称略・順不同)
服部和好 大沼三郎 木谷 勲
安宅信義 橋本 守

新任役員の大挨拶



青少年部会長

湯村 明裕

部会発足が遅れ、関係者の方々にご迷惑をおかけ致しましたことをお詫び申し上げます。

子どもを取り巻く環境は複雑多岐に渡り、健全育成のための方策に苦慮している所です。部会としては、意見情報交換及び提供等。また、関係団体との連携強化、協力を主とした事業を進めたいと思っております。その一つ三者合同研修会は、開催済みですが、各町内青少年部長等の活動の一助として、千子連の取り組みと協力の研修会を計画しています。



広報部会長

西澤 實

この度、広報部会の部会長を担うことになり、広報の役割と今後の発展性を考えるとの責任の重さを痛感しております。

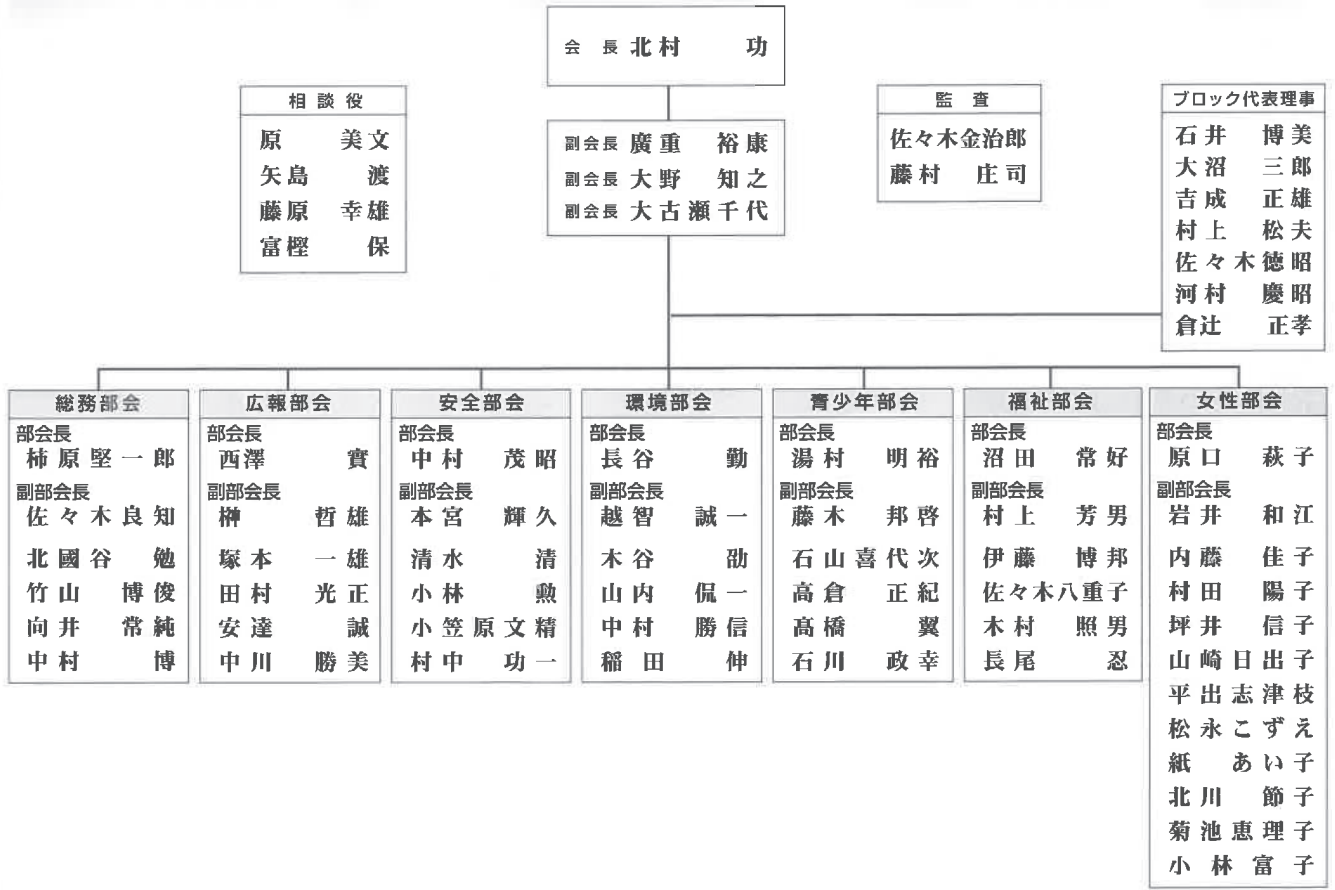
現状の課題として、町内会員一人ひとりに、市町連の存在感と目的が、まだ理解されていないのが現状です。

その中で、年二回「市町連だより」を発行しているの、見やすく具体的な内容で広報誌を通じて、市町連の意義を理解してもらえらる内容で、発行に部員一丸となつて取り組んでまいります。また、単位町内会の活動情報の収集や市町連活動の広報に努めてまいります。

情報の提供・協力等(専門部活動状況の写真撮影させて頂きます)よろしくお願い申し上げます。



千歳市町内会連合会 役員組織図



専門部会重点目標

(1) 総務部会 部長 柿原堅一郎
町内(自治)会との連携強化を図り、単位町内会が抱えている問題点、要望事項等を共通の課題として解決に努め、町内会の活性化を図ってまいります。

(2) 広報部会 部長 西澤 實
広報誌の発行を通し、単位町内会の情報収集や市町連活動の広報に努めてまいります。

(3) 安全部会 部長 中村 茂昭
防災意識を高め、災害発生時の活動を効果的に行うため、地域自主防災組織の設立促進及び防犯、各種事故防止活動に努めてまいります。

(4) 環境部会 部長 長谷 勤
今求められている環境にやさしいライフスタイル《循環型社会》へのキーワードは3R(リデュース・リユース・リサイクル)。

これをたった一言で言い表している日本語《もったいない》を日常生活の中へ取り入れ、みんなで実行するようその啓発と実践に努めてまいります。

(5) 青少年部会 部長 湯村 明裕
いじめ問題・虐待等青少年を取り巻く環境は厳しい現状にあり、健全で明るい生活のため、「あいさつ」の基本を身に付け、単位町内会相互が連携して実践し、豊かな心を育てるように努めてまいります。

(6) 福祉部会 部長 沼田 常好
高齢化社会に対応して誰もが地域で安心して暮らせる地域福祉を充実するために、市町連及び千歳市・千歳市社会福祉協議会と連携を図り福祉の充実、及びその為の研修を行ってまいります。

(7) 女性部会 部長 原口 萩子
町内会女性部(婦人部)相互の活動を高めるために、情報交換及び共通する諸問題を話し合い、心のふれあう明るい地域づくりを推進することに努めてまいります。

平成21年度市町連重点推進項目

1. 循環型社会をつくるため、3R(リデュース・リユース・リサイクル)活動の啓発と実践(継続)
 2. 地域自主防災組織の設立促進、災害時の防災意識を高める(継続)
 3. 子どもたちの安全を不審者等から守る防犯、見守り活動の支援(継続)
 4. 千歳飛行場騒音地区整備協議会の行う調査等の重視(継続)
 5. 平成21年度、単位町内会・自治会組織の活動概要を調査実施(新規)
 6. 新組織体制の進捗状況と会葬礼状事業の推進(継続)
- 以上6項目を重点項目として、住みよい地域づくりを推進いたします。

部会報告

三者合同研修会について

青少年部会長

湯村 明裕

青少年の健全育成に係わる三者が、情報交換と共通の理解を深めることを目的として、七月九日、保護司・民生委員児童委員・町内会青少年部長等合同研修会に二百四十名以上の方にご参加頂き開催できました事を心より感謝申し上げます。

講師は北海道医療大学教授の江口正尊先生で、演題は「いい加減に生きる」です。江口先生は、お酒大好き、奥様大好き、若者大好きな学生思いの熱血教授です。

「いい加減に生きる」とは「良い方向に生きる」ことであり、僧侶でもある先生の生き様について、機知に富み、時にユーモアを交えながらの



語り口で、我々を魅了し、青少年健全育成の原点となる無財の七施、日常五心、永平寺(つもり)十ヶ条等について、人間として必要な考え方や心の持ち方について講演して頂きました。参加者の方も、自律的人格形成の必要性を感じて頂いたと思います。また、これらを青少年健全育成のための資としたいと思います。

幸町連合町内会

創立50周年

会長 廣 重 裕 康

創立50周年記念式を終えて



昭和24年の、字名改正によって生まれた幸町は、清水町、千代田町、錦町などとともに、昭和26年、アメリカ陸軍・オクラホマ州兵師団の進駐以来、飛躍的に発展した町であります。

昭和29年には2丁目、翌30年には1丁目と、2年続けて大火に見舞われましたが、復興再建への熱意・意気込みが結実して、商店街を作り上げ、幸町連合町内会を結成させ、昨年11月11日にはエアポートホテル・アネックスに於いて「連合町内会創立50周年式典」を実施して節目をお祝いしたところです。

当会は結成以来、中心市街地幸町の生活環境の整備や地域福

記念事業をおこなった町内会をご紹介します

社の向上に努めてまいりました。昭和59年には老人クラブ「千幸会」が創設され、現在も着実に活動を続けておりますし、千歳神社の秋祭りには、子ども神輿を練りだして町内に賑わいを呈しているところであります。また、グリーンベルトでお迎えする、千歳神社例大祭の神輿渡御には、町内の役員並びに婦人部が心を込めて行列の皆様をご接待させて戴いております。

少子高齢化の進展、環境問題や資源エネルギーのひびく等、生活は一層厳しさを増すことが予想されます。こうした流れの中、平穏で安らぎのある地域社会の構築を目指し、防犯、防災の取り組みや健康づくりの推進、近年特に重要とされる、高齢者の方



がお独りでも、安心して暮らせる、コミュニティづくりを進めてまいります。

◆町内会紹介◆

●あずさ町内会

総務部長 太田 憲之



あずさ町内会は、平成9年に発足し現在450世帯が暮らす地域であり、会員の平均年齢が若いのが、当町内会の特徴の一つでもあります。



このあずさ地区は、平成6年に宅地造成が始まり、平成8年に従来の北信濃から現在の「あずさ」と町名変更されました。このあずさという町名は、千歳市初にして唯一



のひらがなの町名でもあり、命名当時は脚光を浴びました。町内行事としては、毎年盛況の夏祭り、フラワーロードの花苗移植、春・秋の大掃除、年3回の公園の草刈り、おたのしみ餅つき大会、ラジオ体操、敬老会、千歳会、料理講習会、パークゴルフ大会、ゴルフコンペなどの恒例行事に加え、近年ではボウリング大会、バスツアー、女性の集いなども開催され、年々活動の勢いが増してきております。

平成14年10月には待望の町内会館も完成し、地域活動の拠点や会員のサークル活動の場として、各世代の会員が活発に活動しています。

今後は、自主防災組織の確立など課題はありますが、町内一致団結し、より一層住みよい町内にしていくしたいと思います。

